

## 自己評価報告書

平成 23 年 3 月 31 日現在

機関番号：32665

研究種目：基盤研究（A）

研究期間：2008～2011

課題番号：20243021

研究課題名（和文）「グローバル・アウトソーシング」と経済システムのダイナミクス

研究課題名（英文）”Global Outsourcing” and Dynamics of Economic System

研究代表者 乾 友彦（INUI TOMOHIKO）

日本大学・経済学部・教授

研究者番号：10328669

研究分野：生産性、国際経済学

科研費の分科・細目：経済学・経済政策

キーワード：経済政策、アウトソーシング

## 1. 研究計画の概要

本研究は、最近の多様化・細分化するグローバル・アウトソーシング（国際的分業体制）が、日本及びその受け入れ国の生産性や雇用、経済システムの転換に及ぼす影響について理論・実証の両面から厳密に分析し、具体的な政策提言を行うものである。その際従来あまり分析されてこなかったサービス、研究開発分野のアウトソーシングについても十分分析する。より具体的には

（1）製造業、サービス業の生産工程のアウトソーシングが日本の産業あるいは企業レベルにおける賃金構造や生産性に及ぼした影響を分析する

（2）日本企業のアウトソーシング受け入れ国における影響についても産業、企業レベルの影響について実証的に明らかにする。

## 2. 研究の進捗状況

（1）近年の企業ミクロデータによる実証研究をサーベイし、海外直接投資が国内生産、雇用や生産性に及ぼす影響についての諸研究の動向を展望した。加えて、日本企業の対内外直接投資の特徴に関する研究についても展望した。日本の製造業の生産工程の国際的なアウトソーシングによる効果に関しては、アウトソーシングの影響等による低賃金国からの輸入が企業の雇用に与える影響を分析し、低賃金国からの輸入の増加が雇用成長率にマイナスの効果を与える結果を得た。しかしこの輸入にはアウトソーシング以外の効果が含まれるので、途上国と先進国に投資した日本企業のパフォーマンスの変化を計測した結果、先進国向け直接投資では、現地で一貫生産が行われるので、生産量や雇用の縮小などがみられるのに対して、途上国向け直接投資では、日本との間で工程間分業が

行われるため、国内での生産量・雇用の拡大、それにともなう生産効率の改善がみられることが示された。

（2）製造業を中心に世界のアウトソーシング先となっている中国について産業、企業の観点から日本企業による中国へのアウトソーシングの状況を様々な指標を使用して概観した。中国の上場企業を使った分析では、生産性のキャッチ・アップは必ずしも観察されず、ただ外資系企業が多く立地する沿岸部でのキャッチ・アップのスピードが早いことが判明した。また日本、中国、韓国、台湾で共通して国内のフロンティア企業がキャッチ・アップの対象となっている。中国における外資系企業からのスピルオーバー効果を日米で比較し、日本企業からのスピルオーバー効果が米国企業に比して小さいことが確認された。また中国企業の輸出の特徴を中国の工業統計の個表を使用して分析し、外資系企業が重要な役割を果たし、かつ生産性の高い企業であることがわかった。

## 3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

申請時の計画を具体化した前述の研究計画

（1）と（2）に沿って、上述のとおり研究成果が得られ、下記のように各人の個人研究やグループ研究の成果が公刊・発表されている。

## 4. 今後の研究の推進方策

本年度は当該研究の最終年度であり、今までのプロジェクト期間3年間で蓄積してきた研究成果、データの蓄積を活用して、日本企業のアウトソーシングの効果に関する包括的な研究を行う。具体的には内閣府経済社会総

合研究所において乾が代表を勤め、権、戸堂が委員として参加する研究プロジェクト「東アジア経済における企業の国際競争力の決定要因に関する研究」および経済産業研究所において乾が副代表を勤め権、戸堂が委員として参加する研究プロジェクト「東アジア企業のキャッチ・アップと日本企業の役割・対応に関する研究」と有機的な連携を持って研究する。研究内容としては、韓国・中国企業のキャッチ・アップが、どの程度日本の競争条件、企業成長や生産性上昇率に影響したかについて定量的に分析する。また、キャッチ・アップに際して、金融の影響や、為替レート、労働コストの影響等についても定量的な評価を行う。

年度末に上記のとおり関連研究を進めている内閣府経済社会総合研究所、経済産業研究所との共同国際シンポジウムを中国、韓国、日本の研究者の参加を得て開催する計画である。また、これまでの研究成果の出版も計画しており、入稿前に研究会を開催し、内容を精査する。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

①Kyoji Fukao, Tomohiko Inui, Keiko Ito, YoungGak Kim, and Tangjun Yuan, An International Comparison of the TFP Levels and the Productivity Convergence of Japanese, Korean, Taiwanese, and Chinese Listed Firms, *Journal of Chinese Economic and Business Studies*, forthcoming, 2011年 査読あり

②Tomohiko Inui, Toshiyuki Matsuura, and Kazuma Edamura, Import Competition, Industrial Agglomeration and Japanese Manufacturing Plants Performance, *Journal of Market Economy*, 39(3), 45-69, 2010, 査読あり

③ Ayako Ohashi, Kazunobu Hayakawa, Toshiyuki Matsuura, and Kazuyuki Motohashi, A Two-dimensional Analysis of the Impact of Outward FDI on Performance at Home: Evidence from Japanese Manufacturing Firms, *Keio/Kyoto Joint Global COE Discussion Paper*, DP2010-005, 1-31, 2010, 査読なし

④Alexander Hijzen, Tomohiko Inui, and Yasuyuki Todo, Does Offshoring Pay? Firm-level Evidence From Japan, *Economic Inquiry*, 48(4), 880-895, 2010, 査読有り

⑤Yasuyuki Todo, Weiyang Zhang, and Li-An Zhou, Knowledge Spillovers from FDI in China: The Role of Educated Labor in

Multinational Enterprises, *Journal of Asian Economics*, 60(3), 626-639, 2009, 査読有り

[学会発表] (計5件)

①松浦寿幸, The Role of Trade Cost and FDI Strategies in Heterogeneous Firms: Evidence from Japanese Firm-level Data, East Asian Economic Association, 2010年10月2日、韓国・ソウル市

②戸堂康之, Quantitative Evaluation of Determinants of Export and FDI: Firm-Level Evidence from Japan, American Economic Association, 2010年1月3日、アメリカ・シカゴ市

③乾友彦, Import Competition, Regional Characteristics and Employment Growth in Heterogeneous Plants-Evidence from Japanese Establishment Data-, Western Economic Association, 2009年6月30日、カナダ・バンクーバー市

④戸堂康之, Foreign Direct Investment from and to Japan, East Asia Development Network Annual Forum, 2009年5月21日、タイ・バンコク市

⑤乾友彦, The Location of Japanese MNCs Affiliates: Agglomeration Spillovers and Firm Heterogeneity, 2008年9月14日、日本・近畿大学

[図書] (計2件)

① Naohiko Ijiri, Tomohiko Inui and Toshiyuki Matssura, Palgrave macmillan, Outsourcing to China in Greenaway, D., Milner, C., and Yao, S. eds., *China and World Economy*, 2010年、135-164

② Yasuyuki Todo, Routledge, Inward and Outward FDI of Japan in Sussanqkarn, C., Park, Y., and Kang S. eds., *Foreign Direct Investment in Asia*, 2010年、257-286